

ランドスケープをつくる

とらや 羊羹の風景

この度 Fermier では、重要文化財である東京都庭園美術館（旧朝香宮邸）の旧門衛所内に、展示スペースを併設したユニークな形態の店舗を出店する運びとなりました。本店舗では各種催事と併せ、美術館とコラボレーションするかたちで展示を実施して参ります。

以下、この度の展示の監修者である東京都庭園美術館館長 妹島和世からのご案内です。

当館では一昨年より「ランドスケープをつくる」をテーマに、展示を行ってまいりました。オープン記念となります今回は、室町時代後期に京都で創業して以来、5世紀にわたり和菓子屋を営む老舗「とらや」の羊羹に焦点を当てております。花鳥風月をあしらったさまざまな意匠の羊羹には、日本で親しまれてきた四季折々の自然が込められており、日本の歴史を感じながら、同時に、現代につながる風景を楽しむことができます。本展では、羊羹のデザインに関する解説とそのサンプルに加え、普段見ることのできない菓子見本帳を映像によりご紹介いたします。

季節感溢れる羊羹に象徴されますように、我が国の伝統的な食文化は、日本固有の風土、すなわちランドスケープによって育まれてきたものです。ランドスケープはその場を構成する景観要素としてのみならず、私たちの日常生活のいろいろなところに深く入り込んでいると考えられます。

本展示を通して、先人たちがどのように環境と向き合い、それを日常生活のなかに採り入れてきたのかを考察する契機となれば幸いです。

Fermier のナチュラルチーズとあわせて本展示をお楽しみいただければ幸いです。

会期：2024年1月23日（火）～2月12日（月・祝）

会場：東京都庭園美術館 正門横スペース

休館日：毎週月曜日（祝日の場合は開館、翌日休館）

主催：株式会社 Fermier

監修：東京都庭園美術館館長 妹島和世

問合せ先：03-3443-0201



高根羹



大正14年 店頭風景